



三重大大学の各学部の教員が、さまざまな角度から「健康」に役立つ情報をお伝えいたします。
今号では、工学部から「脊椎疾患の治療とみえジビエ」についてお届けいたします。

脊椎疾患の治療とみえジビエ

ヒトは脊椎動物の仲間であり、脊椎とは一般的に「背骨」のことを指します。脊椎は24個の椎体と、それをつなぐ椎間板や靭帯から構成されており、①体重を支える、②体を屈曲・回旋させるといった柔軟な動きを可能にする、③脊椎の中を走る神経を守る、という3つの重要な役割を担っています。

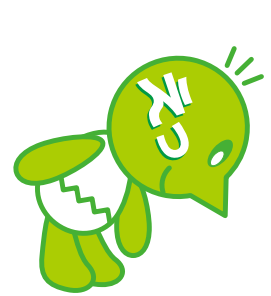
しかし、病気や怪我によって脊椎が損傷すると、その安定性が失われ、いわゆる「グラグラ」した状態になります。その際、どのような治療が行われるのでしょうか。ここでは、三重大学工学部が整形外科医と連携して取り組んでいる研究を紹介します。

脊 椎

って？



体を支える



体に柔軟等の動きを与える



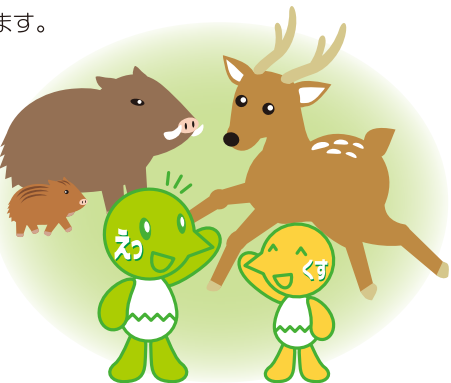
神経を保護する

『みえジビエ』ってご存知ですか？

突然ですが、皆さんは「みえジビエ」をご存知でしょうか。これは三重県が運用する「みえジビエ登録制度」に登録された事業者が扱う、県内で捕獲された野生の鹿肉や猪肉のことを指します。

県では『「みえジビエ」品質・衛生管理マニュアル』を策定し、より高度な衛生管理のもとで安全で美味しいジビエを提供できるよう取り組んでいます。その結果、ジビエ料理を楽しめるお店も増えてきました。

実はこの鹿や猪の資源、食の分野にとどまらず、医学研究にも大きな役割を果たしています。



脊椎疾患の手術療法

脊椎疾患には椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症などがあります。症状が進行し重度となった場合には、手術による治療が選択されます。

代表的な手術法の一つが「脊椎固定術」です。これは損傷によって不安定になった脊椎を、脊椎インプラントと呼ばれる金属製の固定具で安定させる方法です。したがって、脊椎がどの程度グラグラしているのか、また固定具によってどれほど安定するのかを正確に把握することが、適切な治療につながります。

金属製固定具



脊椎固定術



脊椎固定術の力学的評価

その評価のために行われているのが「力学的試験」です。具体的には、損傷を加えたり固定具を装着した「試験体」に対し、前後屈や左右側屈、回旋といった人間の運動を想定した試験を行います。そこで得られる「トルク（ねじる力）」と「回転角度」の関係を分析することで、脊椎疾患の重症度や治療効果を数値的に評価することが可能になります。

この試験体として活用されているのが、獣害対策で捕獲された鹿や猪の脊椎です。食肉（ジビエ）として利用された後、これまで廃棄されていた脊椎を研究用に再利用することで、命を無駄にせず有効活用しています。



新型脊椎強度測定用試験機

今回は、脊椎疾患治療の向上を目指した研究において「みえジビエ」が果たしている役割について紹介しました。捕獲された鹿や猪の命に感謝しつつ、医工連携による研究を進めていくことが、より良い治療の開発につながります。三重大学では今後も、人々の健康に貢献できる研究を積極的に展開していきます。